

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし

にぎわう 町家通り

(4月4日~6日 本町地区・紺屋川筋)

江戸時代の商人町の情緒を残す本町地区で、「備中たかはし城下町 町家通りの雛まつり」(同実行委員会主催)が開かれました。

家々には約70点の江戸時代後期から現代までの雛人形や手づくり雛、季節の花々が飾られ、訪れた多くの人の目を楽しませていました。また、市内の桜の名所の一つ紺屋川筋のソメイヨシノも満開となり、まつりに彩りを添えました。

まつりは地区の住民組織などでつくる実行委員会によって昨年からは開かれており、今回は吉備国際大学入学式(4日)に合わせて前夜祭も行われました。



青少年の健全育成に尽力

(3月25日 高梁国際ホテル)

高梁市青少年健全育成財団は、長年地道な活動を続けてきた市内の団体、個人を表彰しました。表彰されたのは、ボランティアで読み聞かせ等を行っている「おはなしたまてぼこ」、柔道競技のほか奉仕活動にも取り組んでいる「有漢町柔道スポーツ少年団」、ニュースポーツの普及・啓発に努められている妹尾尚さん(川端町)の2団体、1個人です。

財団は昭和63年からこれまでに、81団体、5個人を表彰しています。

婦人ふれあい大会

(3月9日 富家小学校体育館)

「第19回婦人ふれあい大会」(備中町婦人ふれあい会主催)が開かれました。

地域の女性団体による舞踊、笠踊り、手話、寸劇などが披露され、会場は盛り上がりました。また、婦人団体による地元特産品の展示即売もあり、にぎわっていました。

午後からは「命の感受性、今 共生のとき」と題して、作家・落合恵子さんの講演がありました。



入館44万人達成

(3月22日 吉備川上ふれあい漫画美術館)

平成6年4月オープン以来、入館者が44万人を達成しました。

44万人目となったのは、家族で来館した小林雅行くん(10歳・倉敷市中庄)。記念品として、川上地域の特産品が贈られました。



有漢東分団が優勝

(3月16日 川上中学校グラウンド)

「第4回高梁市消防操法訓練大会」が行われ、小型ポンプの部に5方面隊から14チームが出場しました。

競技の結果、優勝：有漢東分団、2位：落合分団、3位：高梁分団となり、優勝した有漢東分団は5月18日に開催される県大会（県消防学校・岡山市瀬戸町）に市の代表として出場します。

体育協会が新たなスタート！

(3月26日 勤労青少年ホーム)

合併前の旧1市4町ごとに組織されていた5つの体育協会を統合し、「高梁市体育協会」として新たにスタートしました。

統合協定調印式には高梁、有漢、成羽、川上、備中の各協会会長が出席。西井教育長の立ち会いで、統合協定書への署名、調印が行われました。

新しい協会の事務局はスポーツ振興課に置きます。



鳴坂旭遺作展

(4月5日～11日 有漢生涯学習センター)

有漢地域にゆかりのある鳴坂旭さんの遺作展が開催され、多くの来場者がありました。鳴坂さんは昭和36年から10年間、美術教諭として有漢中学校へ勤務。

会場には昭和60年に県教職員美術展大賞を受賞した「風景」をはじめ、構図が印象的な油彩34点が展示され入場者を魅了しました。

100歳おめでとうございます

(4月2日 自宅<玉川町玉>)

3月29日に100歳(明治41年生まれ)の誕生日を迎えられた川上磐さんを市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。長寿の秘訣は「暴飲暴食をしないこと」だそうです。

また、3月15日生まれの藤千代乃さん(津川町今津)のお祝いにも訪れました。(3月17日 自宅)

市内で100歳以上の人は4月1日現在で28人(男性7人、女性21人)



今月の 表紙

春の陽あびる三角キャップ

市内の葉タバコ畑で、苗を霜害から守る“三角帽子”がお目見え。巨瀬町の柴倉保さん(89)の畑(50畝)では4月1日と2日に苗を植え付け、キャップをかぶせました。この地区では霜がなくなると5月初旬にはキャップを取り外し、6月中旬から収穫が始まります。約30年前には備北地域の主要産業であった葉タバコも、後継者不足などで現在は栽培が減ってきています。陽光にキラキラと輝く様子はこの地域の春の風物詩です。